

みなみたね 議会だより

第1回定例会

第193号 発行 令和8年4月30日

■発行責任者：南種子町議会議長 塩釜 俊朗

■編集：議会広報編集委員会

■住所：南種子町中之上 2793-1 電話 26-1111

令和8年第1回定例会が3月4日～18日まで開かれました。

一般質問(5名)..... 2P～4P

あおぞら保育園の運営に関する調査特別委員会..... 4P

論点..... 5P

委員長報告(総務文教委員会)..... 6P

委員長報告(産業厚生委員会)・ホームページの閲覧..... 7P

閉会中の継続調査・議会の動向・定例会の予定・議会傍聴

編集後記..... 8P

主な内容

右の二次元コードをスマートフォンなどで、読み取ると「YouTube 南種子議会チャンネル」が閲覧できます。是非、チャンネル登録をお願いします。



一般質問



上園 和信 議員



QRコード

町づくり・地域おこし
対策について

上園 南種子町と三菱重工工業株式
会社と、包括連携協定が締結されまし
た。

協定書に盛り込まれた協定内容説
明を求めます。

町長 昨年12月15日に、本町と三
菱重工工業株式会社防衛・宇宙セグメ
ント宇宙事業部と、「SPACE T
OWN南種子」宣言に基づいた包括
連携協定を締結したところでありま
す。

協定内容は、協定書に5項目を掲

げており、

①資源を活かした宇宙のまちづくり
に関すること。

②宇宙産業等への就業に関すること。

③移住・定住に関すること。

④各小・中学校を対象とした宇宙教
育事業に関すること。

⑤その他、目的を達成するために必要
な事項となっております。

上園 大手企業との包括連携協
定。しっかり連携して本町が抱える重
要課題の解決につなげていく、町長の
所信をお聞かせください。

町長 今回の包括連携協定は、「S
PACE TOWN南種子」宣言に基
づく「共創」した宇宙のまちづくりにつ
ながる取り組み、共に推進していくこ
とを目的に締結したものであり、本町
が抱える地域課題の解決にも、寄与し
ていくものと考えております。

一般質問



濱田 一徳 議員



QRコード

宇宙工学分野の大学誘致
について

濱田 日本一の頭脳と日本を代表
する企業の技術者が集う本町に、宇宙
工学に関する大学誘致をどう考える
か。

町長 宇宙工学を学べる県内の大
学は鹿児島大学や第二工科大学があ
る。
多数種子島ロケットコンテスト大会
に参加して頂いている。

「SPACE TOWN南種子」宣
言では様々な取り組みを行っており、
企業や大学との連携強化についても検
討を重ねたいと考えている。

町制施行70周年を迎える
にあたり

濱田 観光業の課題である施設等

の不足解消に向け、企業誘致推進事業
予算を継続し町内外に広報する。関係
機関団体等との意見交換。プロジェク
トチームを作る等、町長の考えはどう
か。

町長 ロケット打上げの高頻度化
を見据え、町内で宿泊施設を経営して
いる複数の企業が近年、増築に取り組
んでおり、町も協力・支援を進めてい
る。

現在、実施している企業立地促進条
例に基づき支援は継続していきたい。
また、國學院大学の観光まちづくり
学部との連携についても協議を進めて
いる。

旅館業組合や関係機関団体等とも
意見交換しながら、課題解決へ取り組
んでいきたい。

濱田 町制施行70周年記念行事の
青写真はできているのか。

町長 新たなイベントは極力控
え、主に既存イベントの充実を実施す
ることにしている。

その中で「西川悟平氏によるピアノ
コンサート」や町民・団体や自治会等
が実施する事業への助成を考えてい
る。

一般質問

本町の若年女性の減少問題について

福島 持続可能な町づくり戦略において、少子化対策は経済対策と同じく非常に重要な問題です。

令和7年9月時点で、町の総人口は、5,105人で男性2,577人・女性2,528人となっていますが、驚いたのは、若年女性の減少です。20歳〜34歳の割合ですが、男性274人に對し女性は158人で、116人少ない状況になっています。

町内だけに限定すれば、男性10人に對し4人には伴侶がいないことになり、未婚女性も想定されますので、このままだと、2人に1人は伴侶がいない大変な問題となります。

消滅性自治体という言葉聞いた



福島 照男 議員



QRコード

ことがあると思いますが、2020年から2050年の30年間に、20歳から39歳の女性が50%以上減少する自治体のことを指し、全国1,729自治体の内43%に当たる744自治体が該当しています。

南種子町は47・7%ですが紙一重状態です。全国的な課題であり、本町独自で簡単に解決出来る問題では有りませんが、町民と現状の問題を共有しながら一つひとつ対策を講じて行くしか解決策は無いと考えますが、町長の見解を伺う。

町長 これまでの取り組みとして、南種子町定住促進実行委員会による、婚活イベントの実施や、少子化対策の取り組みとしては、結婚祝金・出産祝金の支給や、学校給食の無償化、子供医療費助成など本町独自の取り組みも多数実施してきております。

産業構造の転換や教育機関の誘致など、課題解決に即効性があると考ええる取り組みは簡単に出来るものではありませんが、若年世代の減少を抑制していくことは、地域の活性化にも繋がっていくと考えておりますので、今後この課題解決へ向け様々な取り組みが必要と考えています。

一般質問

学校給食について

野首 学校給食にパンの提供が出来なくなることに付いて、真偽を確認したく経緯の説明を願う。

町長 令和7年10月18日付で渡辺さんから、「学校給食製造委託事業に関する陳情書」の提出があり、内容は「南種子町から特段の補助がないこと」、「原材料高騰などによるパン製造に係る金額の増額」についての要望だった。

これまで南種子町が補助していない理由として、渡辺さんまでパンを直接受け取りに行っていることと、給食で提供するパンは、県学校給食会から購入しており、パン製造に係る価格設定



野首 久教 議員



QRコード

は、県学校給食会、県パン工業組合、渡辺パンの3社で行われていることから、原材料高騰に伴う負担増に対する価格値上げ等は、発注元の県学校給食会や県パン工業組合と協議すべきものと判断していることである。

令和7年12月4日に渡辺さんから、南種子町への供給を停止する旨の連絡があり、令和7年12月22日付で文書にて契約終了の知らせが届いた。

野首 今後の「パン食」をどう考えているか。

教育長 町内業者での調達や冷凍パンの購入について、協議が整うまでの当分の間、米飯給食のみ提供することになるかと思う。

野首 学校給食に、定期的な黒毛姫牛の提供は出来ないか。

町長 令和7年度に行った学校給食での黒毛姫牛の提供は、令和8年度は、町単独事業として引き継ぎ、南種子うまれの黒毛姫牛を使った給食を年間通して提供し、畜産農家の生産意欲の向上と南種子産牛肉の消費拡大を図りたいと考えている。

一般質問



柳田 博 議員



QRコード

県指定介護老人福祉施設への入所規定外の項目について

柳田 令和7年2月28日の入所検討委員会、見直しを検討しましたが、その後町内の入所・待機者の状況は。

町長 令和8年1月末現在では昨年同月より、9名増の32名となり増加しています。

(参考)芙蓉苑入所者内訳(令和8年3月9日現在) 南32名・中16名・西1名・島外1名・計50名(満床)

柳田 県の単独事業である子供医療費事業「重度心身障害者医療費助成事業」及び「ひとり親家庭医療費助成事業」について、現物給付方式に向

けての制度改正に関しての動向はどの様になっているか。

町長 全国的に現物給付化が進む中、本県におきましては現在、「子供医療費事業」のみが、現物給付化されている状況。今後、県においては、関係省庁との連携・調整を十分に図り、主体的に検討をし、具体的な工程や検討状況を明らかにするよう求めていく。

また、市町村に過度な負担が生じない制度運用となるように、県に対し強い要望していく。

柳田 令和8年3月31日をもって、本町の福祉事務所が担っていた一部の事務が県に移管され、廃止となりますが、設置からわずか7年で廃止に至った、その経緯は何か。また移管することで、本町の財政運営に影響は。

町長 福祉事務所の事務移管は、責任を後退させるものではなく、将来に渡り福祉行政の安定確保を最優先に考慮し、住民生活への影響や職員の事務過重負担を軽減する最大の目的であります。今後も福祉に関しては、最大の配慮を払ってまいります。

あおぞら保育園の運営に関する調査特別委員会

審査報告 委員長 福島 照男

未来会議より執行部に提出された町立あおぞら保育園の在り方に関する提言書を受けて、議会としての判断を示す必要性から特別委員会を設置したものです。

提言内容は、町立あおぞら保育園を廃止して、現在2社ある民間保育事業者に委ねると言うものです。

その背景は、町の財政的負担の軽減と就学前児童数の減少等が有りま

す。議会としては、より良い保育サービスの充実・推進を図る為に、保護者や民間業者の意向確認、廃止に伴う財政負担軽減財源による子育て支援の充実策等について調査することとしました。

調査を進める過程において、保護者のアンケート結果から、廃止に反対の意見が多く、公立保育園がある

ことで安心して子育てが出来るという声が多数であり、議会としては、保護者の意向を優先し、継続が望ましいとの結論に至りました。

今後も、就学前児童数の動向を把握しながら、より良い保育環境の在り方を協議して行くことを申し入れました。



論点

第1回定例会

承認

専決処分した事件の承認について「令和7年度一般会計補正予算(第7号)」

承認

条例

町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について

南種子町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

質疑 職員などの級の方々が対象となるのか。

答弁 3級から8級までの職員である課長職、参事職、課長補佐、係長、主幹、主査となります。

南種子町屋根付きふれあい広場の設置及び管理に関する条例制定について

質疑 この施設は、どのような活動を想定しているのか。

動を想定しているのか。

答弁 各団体が町民を対象とした様々なイベント活動や、ふるさと祭りなど、天候が悪い場合の開催時に有効利用できるかと考えております。

南種子町立公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例制定について

南種子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

南種子町特産品開発センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について

南種子町役場課設置条例の一部を改正する条例制定について

原案可決

事件

工事請負契約の締結について(令和7、9年度南種子町防災行政無線設備更新工事)

質疑 現在の防災無線の不感地帯を解消できるのか。

答弁 不感地帯については、電波調査を行い、現在課題となっている地帯については、しっかり設計を行いたいと思っております。また、機器の性能が向上していますので現在よりは改善されると考えております。

南種子町過疎地域持続的発展計画の策定について

質疑 出生率の目標が非常に高い数値となっているが、目標達成のためどのような計画があるのか。

答弁 様々な方策を講じて、出生率が向上していくよう、それぞれの係と連携し、目標達成に努めたいと考えております。

可決

予算

令和7年度南種子町一般会計補正予算(第8号)

質疑 電子地域通貨事業費の物価高騰対応生活支援者給付金が、3千52万2千円組まれているが、この内容について説明を求めます。

答弁 県のプレミアム商品券事業の補助金がありまして、一人当たり6千円という内容になっております。

令和7年度南種子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第5号)

令和7年度南種子町介護保険特別会計補正予算(第5号)

令和7年度南種子町後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第5号)

令和7年度南種子町水道事業会計補正予算(第5号)

令和8年度一般会計予算及び3特別会計予算並びに水道事業会計予算

原案可決

今回の予算審査は、両委員会合同により行い、3月18日の本会議で原案どおり可決されました。

予算内容については、町広報紙(4月号)でお知らせのとおりです。本定例会の議案については、審議の結果原案どおり可決しました。

お詫びと訂正

1月30日発行の議会だより、第192号論点の4頁4段目、右から2行目に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

誤	子供支援法
正	子ども・子育て支援法

総務文教委員会報告

(総務文教委員会)

- 委員長 野首 久教
- 委員 大崎 照男
- 委員 上園 和信
- 委員 塩釜 俊朗
- 副委員長 柳田 博

総務文教委員会が、閉会中の所管

事務調査として申し入れておりました「各教育施設の現状調査について」の経過と結果について報告いたします。

当委員会は、所管事務として町内全小学校と中学校を3回に分けて訪問し、空調設備、衛生設備、放送設備等について調査しました。

行政側から教育委員会管理課長、同施設係長、同管理係長が出席。学校側からは学校長並びに教頭に対応していただきました。

調査の方法は、まず初めに委員長が調査の趣旨説明を行い、そのあと学校長が校内の施設・設備案内と概要説明、引き続き行政当局並びに学校側との意見交換、質疑・応答の場を設けました。

訪問終了後はその都度、議会第1委員会室において総務文教委員全員

と行政側との意見交換を実施しました。

紙面の都合上、所管事務調査報告書に記載されている全ての質疑・応答は掲載出来ませんが、中平小学校では、

質疑 校庭ですが、乾燥時期になると砂埃が相当あるのではと感じたので、トラック部分を除いて全面的に芝生の必要性があるのではないか。

答弁 学校の要望として芝を張っている学校もあるが、芝生と校庭との段差がつくことで、芝を取った学校もある。

芝があつた方がいいのかどうかは、学校の判断となる。
芝の管理とか、段差がついて砂がたまりやすくなり、剥いだ経緯もあるので、学校とも確認したい。
南種子中学校では、

質疑 廊下の蛍光灯や一部教室の

蛍光灯にも暗いと感じる箇所が見受けられた。

照明器具については、LEDの方に交換してほしい。

答弁 学校のLED化については、2027年に蛍光灯が生産中止ということになるので、来年、再来年でLED化を図るように計画している。

等が、質疑・応答の一部となりますが、各学校側からは共通して、各施設・設備に異常や不具合等が確認された場合は、その都度所管課である教育委員会管理課に報告・連絡・相談をしながら対応して頂いていると説明がありました。

12月17日(水)、各学校での調査を終了し議会1委員会室にて、次のとおり意見の集約を行いました。

1. 各学校へ共通する事項として、音楽室、理科室等の特別教室にエアコンが設置されていないので、エアコンの設置を要望する。

2. 質疑・応答の中で、所管課にて調査・検討確認、処置を行う事項については、確実な実施を要望する。

以上2点を当委員会の意見として、町執行当局に申し入れることが適当であると決定したところであります。議長において、宜しくお取り計らい下さいますようお願いいたします。

以上で、総務文教委員会の所管事務調査の、経過と結果について報告を終わります。

お詫びと訂正

1月30日発行の議会だより、第192号の総務文教委員会報告の記事の中で、開催年に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

誤	令和7年第1回定例会
正	令和8年第1回定例会



産業厚生委員会報告

(産業厚生委員会)

委員長 福島 照男
副委員長 平島 強

委員 川内田 行博
委員 名越 多喜子
委員 濱田 一徳

今回は、所管する観光政策と農業政策について報告いたします。

令和 7 年 5 月、鹿児島市内で開催の町村議員研修会を捉えて、南さつま市に観光政策の取り組み状況の視察研修に行ってきました。

南さつま市は、1市4町が合併して出来た市で、東シナ海に面する海岸線は風光明媚な景色を醸し出しています。

また砂の祭典は、県内外から多くの観光客を呼び込む一大イベントとして開催していますが、年間を通じて訪れる多くの観光客は、鹿児島市内や指宿などに宿泊する日帰り客となっており、経済波及効果を高める観点から、宿泊型観光の企画推進が課題となっているとの事です。

本町に於いては、数年前から世界遺産・屋久島を一望できる西海岸線に、休憩所の設置・検討を要請してきましたが、この程県の認可がおり、準備が進められています。

機能としては、駐車場・トイレ・展望デッキ・サイクルラックを想定しています。

農業問題については、サツマイモの基腐れ病対策や、堆肥センターの運営改善等について所管課と共に取り組んできました。

基腐れ病対策は、未だ農業の開発が進まず、持ち込まない・増やさない・残さないを重要項目とし、バイオ苗の提供、排水対策への助成、廃棄場所の新設等に取り組んでいます。

堆肥センターの運営改善については、新光糖業側と情報交換を行った際に、バカス(サトウキビの絞り粕)の有効活用が議題となった事から、堆肥センターでの安価堆肥の製造試験に取り組んでいる所です。

現在も実験は継続中で、町民に安い堆肥提供が出来る様に所管課と共に取り組みを進めます。

今後も所管する課題について、着実に成果を出せるよう取り組んで参ります。



ホームページの閲覧について

左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると南種子町議会の議会だより(平成27年3月発行分以降)と定例会の会議録(平成27年第2回定例会分以降)の閲覧ができます。是非ご利用ください。

議会だより



会議録



【閉会中の継続調査事項】

委員会名	調査事項
議会運営委員会	次期議会の会期日程等議会の運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項
総務文教委員会	町内に立地している宇宙関連企業の現状調査について スポーツ関連施設の現状調査について
産業厚生委員会	産業厚生委員会所管課の振興策全般に係る調査について
南種子町議会議員定数削減等に関する調査特別委員会	南種子町議会議員定数削減等に関する調査について

町議会にペーパーレス会議システムを導入しました

効率的で円滑な議会の運営とペーパーレスの推進を図るため、令和 8 年第 2 回臨時会より、ペーパーレス会議システム及びタブレット端末を使用した議会運営を開始しました。

議案書など議会関係資料等を電子化し、タブレット端末を使って本会議や常任委員会等において各議員が審議を行うものです。

今後はペーパーレス会議システムを運用しつつ、タブレットの多様な活用を検証しながら、より一層の議会活動、議会活性化を進めてまいります。



(4月14日 操作説明会の様子)

議会を傍聴してみませんか

町民の皆様、町議会の活動や町政の進め方などをよく知っていただくために、多くの方に傍聴していただきたいと考えています。

傍聴するときは、傍聴者名簿に住所・氏名・年齢を記入するだけで傍聴できます。

町議会の定例会は、年4回(3月・6月・9月・12月)開催されています。開催日が決まりましたら防災行政無線でお知らせいたします。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎26-1111 (内線280・281)

第 2 回(6月)定例会の予定

- 6月11日(木) 開会・本会議
- 12日(金) 本会議
- 19日(金) 最終本会議

※都合により変更となる場合があります。

次回の議会だよりは、令和 8 年 8 月発行予定です。

編集後記

物価高が続く中、町民の皆さまにおかれましては、日々の暮らしの中でさまざまなご努力をされていることと思います。

また、少子化が進む中、町としても子育て世代への支援をはじめ、さまざまな課題にしっかりと向き合っていく必要があります。今回の予算にも、そのための対策が盛り込まれております。

昔から「子は宝」と言われてきました。もちろん、今も子どもたちは町の大切な宝です。そして私は、それと同じように、この南種子町で暮らしておられる町民の皆さまお一人おひとりも、町にとつてかけがえのない宝であると感じています。

その大切な宝がこれからも輝き続けられるよう、一人ひとりが希望を持ち、安心して暮らせる町であるために、行政と議会がともに力を尽くしていくことが大切ではないかと考えております。

引き続き、町民の皆様には、議会に対する御理解と御協力をよろしくお願い致します。

議会広報編集委員会
(文責)川内田 行博